

平成22年度計画

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

1 診療計画及び診療に関する重点事項

(1) 診療計画

平成22年度は、統合再編の3年目にあたり、日本海総合病院で増築・改修工事が完成する年度であり、日本海総合病院酒田医療センター（以下「酒田医療センター」という。）においても増築・改修工事の設計、さらに工事着手が行われる。

そのため2病院の診療体制においても大きな見直しが行われることになる。そのうち、日本海総合病院では増築工事が8月末に完成し、その後、酒田医療センターから消化器科、整形外科、神経科・精神科等の診療科の移行を行うことから、外来・入院患者の診療環境のスムーズな移行等に最大限配慮する。また、引き続き改修工事が平成22年度末まで行われるため診療環境に悪影響が出ないように配慮する。

酒田医療センターにおいても、日本海総合病院への診療科の移行、療養病床への転換に係る諸調整、作業を着実に推進し、地域の医療機能の向上を図るものとする。

①日本海総合病院

増築工事が完了するまでは、これまでと同様に消化器科、整形外科、神経科・精神科の診療の主体を酒田医療センターに置く。なお、救急医療体制についても2病院の診療体制をベースとしながら、住民や消防・救急等関係機関に混乱が生じないように、診療体制・救急医療体制を確保していく。

増築工事が8月末に終了した後の9月から11月にかけて酒田医療センターから消化器科、整形外科、神経科・精神科等の診療科の移行を計画的に連続して行い、スムーズな診療体制の移行を行う。同時に現在、2病院で行っている救急外来機能についても地域の病院・診療所、消防の救急隊との連携を図り日本海総合病院に集約化する。

また、平成23年度開設予定の救命救急センターの設置のため、職員の配置、医療器械の整備、開設手続き等を行う。

日本海総合病院の機能(増築工事が完了するまでの間)

規 模	525床
診 療 科 (25科)	内科、循環器内科、消化器内科（一部）、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科（一部）、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科
施 設 基 準	一般病棟
特殊診療機能	ICU（集中治療室）、HCU（準集中治療室） 未熟児室 感染症病床 放射線治療 外来がん化学療法

	セカンドオピニオン外来 緩和ケア 人工透析（急性期） 地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）
救急外来機能	消化器科、整形外科、神経科・精神科を除く全般
その他	病院間移動用ワゴン車、院内保育所

日本海総合病院の機能（平成23年4月の時点で予定される機能）

規 模	648床程度
診 療 科 (25科)	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科
施 設 基 準	一般病棟
併設診療機能	救命救急センター(新型) 屋上ヘリポート設置
特殊診療機能	ICU（集中治療室）、HCU（準集中治療室） 未熟児室 感染症病床 放射線治療 外来がん化学療法 セカンドオピニオン外来 緩和ケア 人工透析（急性期） 人間ドック 地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）
救急外来機能	診療科全般
その他	病院間移動用ワゴン車、院内保育所

※ 平成22年9月以降の診療科の移行に伴い、病床数、診療科なども随時変更の予定がある。

②酒田医療センターの体制

日本海総合病院の増築工事が完了するまでの間、集約できない診療科については、酒田医療センターで担っていく。内科は外来のみとし、消化器科、整形外科、神経科・精神科は酒田医療センターが中心となる。

9月からは日本海総合病院へ、消化器科、整形外科、神経科・精神科等に移行させるとともに療養病床としての機能拡充のための増改築に取り掛かることになる。平成24年度の施設整備完了までは暫定的に西棟を療養病棟として活用する。

酒田医療センターの機能(日本海総合病院の増築工事が完了するまでの間)

規 模	235床
診 療 科 (6科程度)	内科(一部)、消化器科、整形外科、神経科・精神科、放射線科、麻酔科
施 設 基 準	一般病棟
特殊診療機能	人間ドック 地域医療室(地域連携・在宅療養支援など)
救急外来機能	消化器科、整形外科、神経科・精神科
そ の 他	病院間移動用ワゴン車

酒田医療センターの機能(平成23年4月の予定される機能)

規 模	110床程度
診 療 科 (2科程度)	内科、リハビリテーション科
施 設 基 準	療養病棟
特殊診療機能	地域医療室(地域連携・在宅療養支援など)
そ の 他	病院間移動用ワゴン車

※平成22年9月以降の診療科の移行に伴い、病床数、診療科なども随時変更の予定がある。

※現在、酒田医療センターでは「消化器科」「神経科・精神科」という診療標榜科名を使用していますが、日本海総合病院へ移行の際には、平成20年厚生労働省医政局長通知による「消化器内科」「精神科」という標榜科名となる予定です。

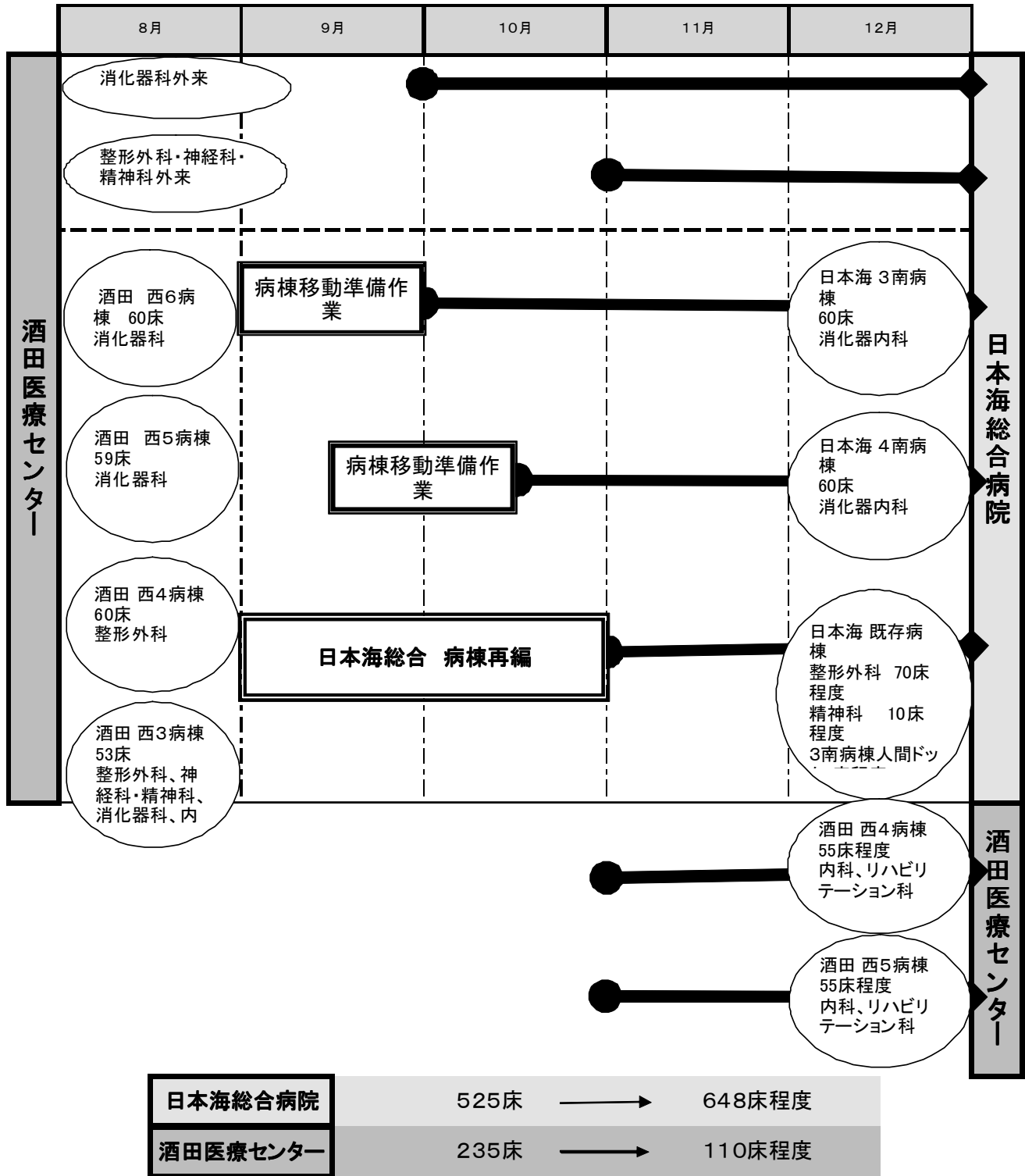
③診療科の移行スケジュール

日本海総合病院では増築工事が8月末に完成し、その後、9月から11月にかけて酒田医療センターから消化器科、整形外科、神経科・精神科等の診療科の移行を行うことにしている。その概要としては、9月初旬から日本海総合病院、酒田医療センターで移行準備作業、病棟再編を開始し、消化器科が10月初旬から10月中旬に移行を行い、整形外科、神経科・精神科等が11月初旬を目指して移行をすることになる。

外来・入院患者の診療環境のスムーズな移行が行われるよう事前準備作業等を含め最大限配慮すると同時に医療機器設置や酒田医療センターからの職員異動等を計画的に行うとともに、患者や地域住民への周知に万全を期すものとする。

具体的な診療科の移行スケジュールは次の予定としている。

診療科移行スケジュール(案)



(2) 診療に関する重点事項

①診療体制の整備

医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、平成22年度において、次のとおり診療部門の充実及び見直しを行う。

a) 救急医療

- ・ 日本海総合病院の増築工事完成までの2病院による救急医療の円滑な実施と増築工事完成後の救急外来機能の日本海総合病院への集約
- ・ 日本海総合病院救命救急センターの開設に向けた準備(平成23年度4月開設予定)
- ・ 小児救急外来に対する酒田地区医師会の協力による診療支援の継続と酒田市・酒田地区医師会・酒田地区薬剤師会との協議による酒田市平日夜間・休日診療所の日本海総合病院内への開設準備と整備
- ・ 酒田地区広域行政組合と連携した救急ワークステーションの整備(平成23年度4月開設予定)

b) がん医療

- ・ 地域がん診療連携拠点病院として、がん登録機能、相談支援体制の充実
- ・ 外来がん化学療法の実施のための施設拡充
- ・ 緩和ケア医療の充実
- ・ セカンドオピニオン外来の充実

c) 脳卒中・急性心筋梗塞

- ・ 専門的医療やCT・MRI検査の24時間対応
- ・ 急性期リハビリテーションの充実

d) 糖尿病

- ・ チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた教育入院等の集中的治療の充実

e) 在宅医療支援及び療養支援

- ・ 地域の介護機関・福祉機関・医療機関との連携を強化するための窓口・相談機能の充実

f) その他

- ・ 診療科の移行が完了するまでの間、複数診療科を受診する患者の利便性を従来どおり確保するため、2病院間に患者移動用ワゴン車を運行する。また、診療科移行後の運行について再検討する。

②災害時における協力

- ・ 災害時には、災害拠点病院として患者を受け入れるとともに、県の要請に基づき、又は自ら必要と認めたときは、DMAT(災害派遣医療チーム)等、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を実施する。

- ・ 災害発生時に備え、地域の医療機関、医師会、自治体等が参加する災害医療訓練に年1回以上参加するとともに、地域の医療従事者を対象とした災害医療研修を実施する。

③政策医療の実施

- ・ がん・脳卒中・糖尿病・小児医療・周産期医療などの高度専門医療についても、民間の医療機関では導入が困難な技術、先進的な技術を先駆けて導入するなど、地域の中核的医療機関としての役割を果たしていく。
- ・ 酒田医療センターにおいて老人性認知症センターを運営し、老人性認知症患者の専門医療相談、鑑別診断等について継続して実施していく。なお、診療科移行後の日本海総合病院におけるあり方について検討する。

④優れたスタッフの確保

a) 優秀な医師の確保と医師の負担軽減

- ・ 高度専門医療等の水準を維持・向上させるため、大学等関係機関との連携の強化や教育研修の充実により、優秀な医師の育成、確保に努める。
- ・ 臨床研修医の受け入れについては、教育研修体制の充実を図るとともに、処遇の改善も行いつつ、臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医をいう。）の受入れ拡大に努める。
- ・ 医師の負担の軽減により、医師確保と定着化を促進するため、医師事務補助など医師を支援する職種の拡充等を図る。

b) 看護職及び医療技術職の専門性の向上

- ・ より質の高い看護を提供するため、計画的に認定看護師等の資格取得を促進する。
- ・ 薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し、専門技能の向上を図る。
- ・ 専門性の高い看護師や薬剤師、技師等が、がんや心疾患、糖尿病等に対するチーム医療の実施において、医師とともに中心的な役割を果たせるよう、必要に応じ体制整備を進める。（看護部に内視鏡室を設置）

⑤地域連携の推進

- ・ 庄内地域における中核的な医療機関としての役割を果たすと同時に、他の医療機関との役割分担と連携を強化し、地域医療機関との紹介率・逆紹介率の向上等に取り組む。
- ・ 日本海総合病院の電子カルテ情報（診療録、処方、注射、検査、画像、サマリーなど）を、インターネットを利用して地域内の病院、一般診療所、歯科診療所、薬局、介護・福祉施設などで閲覧できるように情報提供するとともに、ファイル化された診療情報を病院や診療所等の相互間で送受信できるシステム

(酒田地区医療情報ネットワーク事業により構築)を整備し、地域の医療機関と診療情報の共有化を図る。

- ・ 脳卒中、心筋梗塞などの地域連携クリティカルパスを作成し、酒田地区医療情報ネットワークを活用した運用を行なう。
- ・ 地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関への患者情報の提供や、退院時カンファレンスの取組みの強化等により、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供ができるように努める。

⑥クリティカルパスの活用

- ・ 効果的な医療を提供し、患者負担の軽減にも寄与するため、電子カルテをベースとしたクリティカルパスの作成及び適用を進める。

⑦庄内地域における医療水準の向上

- ・ 地域の中核的な医療機関として、山形大学、東北大学、公立大学法人山形県立保健医療大学、県立病院などとの人材交流や研修を通して質の高い医療従事者の育成を推進し、庄内地域における医療水準の向上を進める。

⑧住民の意識の啓発

- ・ 地域住民を対象としたセミナー、広報などを積極的に行い、住民の医療や健康に対する意識の啓発に努める。
- ・ 他の機関が行う地域の医療従事者や住民に対するセミナー等への講師派遣についても積極的に行う。

(3) 患者・住民サービスの一層の向上

- ・ 日本海総合病院への診療科の集約化に伴う、外来、検査、手術、会計等が集中されることから、外来診療システムの改善及び診療時間の弾力化を図るなど待ち時間の短縮化等に取り組む。
- ・ 院内見学や意見交換の場を設けることにより、患者・住民の目線に立ったサービスの向上の取組みを進める。
- ・ ホームページの充実による病院情報の発信力の強化
- ・ 日本海総合病院において平成20年度から実施した重症心身障がい児(者)短期入所事業については、在宅療養をされている重症心身障がい児(者)が家族の疾病等の理由により介護できない場合に日本海総合病院の空ベッドを利用して一時的に入所サービスの提供を行う事業であり、そのサービスの充実を図る。

(4) 統合再編、施設整備に関する住民への広報

- ・ 施設整備完成による診療科の移行スケジュール、診療体制の変更等については、引き続き住民及び患者に丁寧に説明していくとともに、地元自治体の広報を含め、多様な広報媒体を活用して積極的に情報提供していく。
- ・ 医師会・薬剤師会など地域の医療関係者に対する情報提供を行うなど、多方面から住民への広報を進めていく。
- ・ 日本海総合病院の施設整備期間中及び完成後における駐車場確保、救急外来出入口の変更、構内道路の通行制限等についても住民への広報を進めていく。

(5) 法令等の遵守と情報公開の推進

- ・ 法令等に基づき、医療従事者としての行動規範、倫理等について規則化し、所要の研修を行う。
- ・ インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ、レセプト等医療情報の情報開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて適切に対応する。

2 施設設備整備

(1) 統合再編に係る施設整備

日本海総合病院の増改築・改修工事については、今年度は、引き続き増改築の本工事を行うほか、内外装工事、空調・衛生設備、電気設備工事を実施し平成22年8月末に増築棟の完成を目指す。また、既存の施設の改修工事も引き続き実施し、平成22年度末の完成を目指す。

工事期間中は、工事に伴う騒音・振動、構内道路の通行止めなど、患者の医療環境の低下が懸念されるため、影響を最小限にとどめるように努める。

酒田医療センターの増築、改修工事については、平成21年度に中期計画を変更したことにより、療養病床に転換を図るとともに、回復期リハビリテーション病棟、デイケア施設の整備を予定している。今年度中に基本設計、実施設計を行い、増築、改修工事に着手する予定である。

◆日本海総合病院の施設整備予定内容（平成21年度、22年度）

項 目	内 容
救命救急センター	・ E R（救急治療室）整備。屋上ヘリポート併設
一般病床	・ 120床程度増設 （うち人間ドック7床程度）
手術室	・ 5室増設
周産期施設	・ 分娩室、未熟児室等整備
外来診察室	・ 診察室17室程度増設 ・ 外来がん化学療法室整備
内視鏡検査室	・ 8台程度（5台程度増設）
放射線室	・ M R I 1台増設 ・ 心臓カテーテル検査装置1台増設
駐車場	・ 増設

◆酒田医療センターの施設整備予定内容（計画）

項 目	内 容
東棟等改修	・ 110床程度 ・ 西棟に集約されていた設備を移設

※ 西棟解体は酒田医療センター完成後に実施予定。

<施設整備のスケジュール>

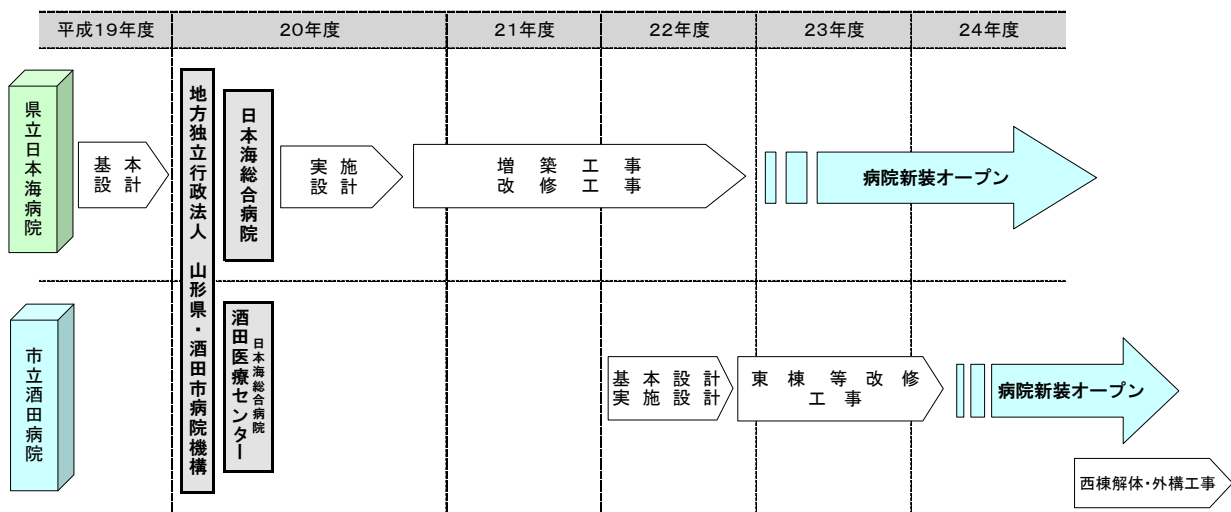
①日本海総合病院

- ・基本設計：平成19年度
- ・実施設計：平成20年度
- ・工事期間：平成21年度から22年度

②日本海総合病院酒田医療センター（予定）

- ・基本設計・実施設計：平成22年度
- ・工事期間：平成22年度から平成24年度

施設整備に関するスケジュール



(2) 高度医療機器の計画的な更新・整備

- ・ 高度専門医療等の充実のため、平成22年度は以下のとおり高度医療機器の更新・整備を行う。
- ・ 高度医療機器の更新・整備に当たっては、稼働率や収支の予測を十分に行った上で進めるものとする。

<平成22年度の医療機器整備費（長期借入金対象）>

(単位：百万円)

病 院 名	事業費	主 な 内 容
日本海総合病院 酒田医療センター	906	磁気共鳴画像診断装置（MRI）、循環器系X線診断装置等
合 計	906	

【平成22年度における医療機器・施設整備に関する計画】

(単位：百万円)

区 分	予 定 額	財 源
資本支出		
建設改良費	5,114	設立団体からの
統合再編に伴う増築・改修分	3,991	長期借入金、出
医療機器整備分	1,045	資（出資債）等
その他（改修工事等）	78	

3 患者数の見込みと収支計画

平成22年度における患者数の見込みと予算、収支計画、資金計画については以下のとおりとする。

(1) 患者数の見込み（平成22年度）

(単位：人、%)

		平成22年度			平成21年度 (当初予算ベース)		
		日本海	酒田	合計	日本海	酒田	合計
入院	病床数	519	235	754	525	235	760
	1日当たり	504.2	145.4	649.6	447.0	195.0	642.0
	病床利用率	86.4	80.1	-----	85.1	84.1	-----
外来	1日当たり	1,126.2	251.2	1,377.4	936.0	431.0	1,367.0

ただし、病床数について、日本海総合病院は平成22年10月より648床、酒田医療センターは平成22年11月より110床の予定です。

(2) 予算（平成22年度）

(単位：百万円)

区 分	日本海	酒田	合計
収入	18,036	3,772	21,808
営業収益	11,873	2,598	14,471
医業収益	11,776	2,325	14,101
運営負担金	97	273	370
営業外収益	951	262	1,213
運営費負担金	825	250	1,075
その他	126	12	138
資本収入	4,088	410	4,498
運営費負担金	886	204	1,090
長期借入金	3,202	206	3,408
その他の収入	1,124	502	1,626

(単位：百万円)

区 分	日 本 海	酒 田	合 計
支 出	17,616	3,828	21,444
営業費用	11,207	2,688	13,895
医業費用	11,021	2,688	13,709
給与費	5,999	1,483	7,482
材料費	2,933	584	3,517
経費	2,028	609	2,637
資産減耗費	5	1	6
研究研修費	56	11	67
一般管理費	186	0	186
営業外費用	686	48	734
資本支出	5,711	1,090	6,801
建設改良費	4,370	744	5,114
長期借入金返還金	1,341	346	1,687
その他の費用	12	2	14

(注1) 建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金等については、資本助成のための運営費負担金等とする。(以下、同じ)

(3) 収支計画 (平成22年度)

(単位：百万円)

区 分	日 本 海	酒 田	合 計
収入の部	12,824	2,860	15,684
営業収益	11,873	2,598	14,471
医業収益	11,776	2,325	14,101
運営費負担金収益	97	273	370
営業外収益	951	262	1,213
運営費負担金収益	825	250	1,075
その他医業外収益	126	12	138
その他の収入	0	0	0
支出の部	12,784	2,897	15,681

営業費用	12,086	2,847	14,933
医業費用	11,900	2,847	14,747
一般管理費	186	0	186
営業外費用	686	48	734
その他の費用	12	2	14
純利益	40	△37	3

(4) 資金計画（平成22年度）

（単位：百万円）

区 分	日 本 海	酒 田	合 計
資金収入	18,700	7,849	26,549
業務活動による収入	12,824	2,860	15,684
診療業務による収入	11,776	2,325	14,101
運営費負担金による収入	922	523	1,445
その他の業務活動による収入	126	12	138
投資活動による収入	886	204	1,090
運営費負担金による収入	886	204	1,090
財務活動による収入	4,326	708	5,034
長期借入による収入	3,202	206	3,408
補助金等による収入	1,124	502	1,626
前年度からの繰越金	664	4,077	4,741
資金支出	17,616	3,828	21,444
業務活動による支出	11,905	2,738	14,643
給与費支出	5,999	1,483	7,482
材料費支出	2,933	584	3,517
その他の業務活動による支出	2,973	671	3,644
投資活動による支出	4,370	744	5,114
有形固定資産の取得による支出	4,370	744	5,114
財務活動による支出	1,341	346	1,687
移行前地方債償還債務等の償還による支出	1,341	346	1,687
翌年度への繰越金	1,084	4,021	5,105

4 その他業務運営に関する事項

(1) 職員の配置等

平成22年度も日本海総合病院の増築工事が完成するまでは引き続き2病院が分離した診療体制となることから、患者や業務の動向を見ながら弾力的に適正な職員配置と施設の運用等についても、弾力的に対応していく。また、日本海総合病院への診療科の集約に伴う酒田医療センターからの職員の異動についても計画的に行うものとする。

(2) 就労環境の整備

- ・日本海総合病院の院内保育所「あきほ保育園」については、24時間保育所の運営を軌道に乗せるとともに、定員枠の変更も再検討する。
- ・日本海総合病院の職員駐車場については、患者動向等を勘案して再整備を検討する。

(3) 酒田市立酒田看護専門学校の開校への支援

平成22年度から市立の看護学校として開校する「酒田看護専門学校」の教育部門を当法人が酒田市より業務委託を受けて実施することになることから、今後は酒田市と連携し当機構の看護職員を対象に看護教員としての育成に努める。